

《2019年度 PDCA サイクル実施計画・管理表》

令和2年3月31日 現在

部 会 名	P 実 施 計 画				実 施 管 理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期 (予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	今後の改善内容(計画)
北 播 磨 総 合 医 療 セ ン タ ー	がん診療に対する チーム医療の推進	多職種が参加しているが、有効に利用できていない	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療に対するチーム医療の推進 ・がん診療に対する安全性を高める。 	R02.03	△	おおむね達成	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療に対するチーム医療の推進 ・がん診療に対する安全性を高める。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療に対するチーム医療の推進 ・がん診療に対する安全性を高める。
	緩和ケア医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア医療の推進 ・緩和ケア医療の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア医療の推進 ・緩和ケア医療の推進 	R02.03	○	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア医療の推進 ・緩和ケア医療の推進 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア医療の推進 ・緩和ケア医療の推進
	がん相談支援センターの充実	相談体制の更なる充実を図る必要がある	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターの充実 ・がん相談支援センターの充実 	R02.03	○	達成	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターの充実 ・がん相談支援センターの充実 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターの充実 ・がん相談支援センターの充実

北播磨総合医療センター	AYA世代対応の充実	各診療科において対応がまちまちである ・院内の情報収集 各診療科にアンケートを実施し、現状を把握する ・アンケートの内容を参考にしつつマニュアル、フローチャートの作成	R02.03	○	達成	各診療科にAYA世代のがん支援についてアンケート調査を行い現状を把握すると共に、院内にフロー等が必要であるという認識を得た。これを受け、コアメンバーでAYA世代のがんとその他の疾病に関する支援を行うためのフローを作成した。	継続 作成したフローを各診療科に周知し院内での支援体制を確立する。妊孕性に関する連携がスムーズにできるための体制の構築が必要。
	適切ながん診療についての広報活動	県指定病院として、適切ながん診療の広報活動を実施する必要がある ・北播磨圏域の医師会へ向け適切ながん診療についての講演を実施する ・病院フェスタ、外来ミニ講座等を通じ、患者に対し適切ながん診療についての広報活動を実施する	R02.03	○	達成	・県指定を受け、11月に「消化器がんの診断と治療」と題し、当医療センターの受ける取り組みを消化器内科、消化器外科の医師が講演。院内外より85名の参加があった。 また、第2回目として、2月に「がんゲノム医療」について、県立がんセンター 須藤 先生を招き講演会を開催。院内外より97名の参加があった。 ・10月開催の「病院フェスタ」において「地域医療連携室コーナー」の一角にがん相談コーナーを設けるとともに、乳房触診モデルを設置、実際に触診を体験してもらった。また、ウィッグの展示、アンケート調査を実施する等、がん診療についての広報活動を行った。	継続 ・引き続き北播磨圏域の医師会等を対象とした「がん治療」をテーマとした講演会を実施していく。 ・病院フェスタ、外来ミニ講座等を通じ、一般の方々にも適切な「がん診療」について、広報活動を継続して行っていく。
	院内がん登録実務の精度向上	がん登録実務認定者の技能向上 ・院内がん登録実務中級者認定の取得 ・積極的に研修や実務者ミーティングに参加し、がん登録を取り巻く環境変化に対応する	R02.03	○	達成	・院内がん登録実務中級者認定は1名取得。 ・研修会等の参加状況 兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会(6/28) 実務者ミーティング(9/11・2/14) 全国がん登録実務者研修会(8/30) 大阪府三島医療圏がん登録部会 がん登録研修会(11/22)	継続 ・院内がん登録実務中級者を複数名取得 ・積極的に研修や実務者ミーティングに参加し、がん登録を取り巻く環境変化に対応する。
	がん地域連携クリティカルパスの件数の増加	運用を開始しているが件数が伸び悩んでいる ・地域の医療機関への広報活動 ・患者への広報活動	R02.03	○	おおむね達成	ESDの地域連携パスを10件の運用できた。 ただし、対象者の選定が難しい。	その他 現在運用中のパスで継続していく。その他の疾患については検討が必要。

(注)実施管理・区分欄の記入について

C評価における区分は、達成・概ね達成・未達成 から、A改善における区分は、完了・継続・その他 から、それぞれ1つ選んで記入する。